

DVD+動画配信+誌面+WEBで
ウデとクルマを鍛える

映像9本2層DVD特大号

2021 July

7

365

REV/SPEED

レブスピード7月号

2021年5月26日発売(奇数月26日発売) 特別価格1430円

WRX/BRZ SUBARU大特集

チューニング/メンテナンス/リフレッシュ最前線
WRX STI 限定車&コンプリートモデル大全

新型86/BRZを
買うべき理由



走りを磨く ブレーキチューン

ZC33Sスワフトスポーツ
GR YARISが面白い!

WRX STI 鈴鹿対決

筑波で比べてみた
WRX STIとGR YARIS

GC8もGDBも速いぞ!
WRX STI×岡山国際

東北No.1決定戦 2021 Rd.1
チューンドカー8LAPバトル

スポーツランドSUGO活用術
+佐々木雅弘の新コース攻略ガイド

セントラル ラジアルチャレンジ 2021 Rd.1
S2000激走10LAPバトル

金管裕人のメカニズム講座
プリウスPHV apr GT

岡山国際サーキット 活用の手引き
+阪口良平/蒲生尚弥 車載映像集

筑波コース1000活用術
+木下みつひろ 砂子塾長
コース攻略レクチャー

REV/SPEED
2021年7月号
DVD
VIDEO

特別付録DVD

2層豪華版

映像9本

副音声

木下みつひろ
深堀り解説

VA型WRX×最新バケット マッチングレポート

BRIDE

ここでは VAB WRX STI で 4 タイプの BRIDE バケットシートをそれぞれ装着して、ドライブフィールをチェック!



STRADIA III

新世代リクライニング機構付きバケットシート。同社の新世代フルバケットシリーズと同等の剛性、ホールド性、低い着座位置 (ZETA IV とほぼ同じ高さ) が得られ、新しいリクライニングデバイスにより、バックラッシュ (遊び) も限りなく 0 に近い。ハンドルはわずかに左にオフセット (ZETA IV と同等)。サイドサポートが低く、乗り降りしやすい



純正シート

乗り降りのしやすさ抜群で、ホールド性も頑張っているが、着座位置が高い。長距離では背中や腰のあたりが疲れやすい傾向にあるようだ。重量面でもバケットに換えたときのメリットは大きい

ストリートとの両立なら
ストラディアⅢがオススメ

サーキット走行ではバケットシートが欲しくなるが、WRXの場合、クルマの用途によって選択はさまざま。そこで、4タイプのブリッド最新モデルを試すことにした。今回装着のバケットシートは、座面の高さがすべて純正より約40mmダウンとなっている。

タイムアタックやレースなど、本格的にサーキットを走り込むなら XERO CS がいちばんだ。抜群のホールド性はもとより、背中に体重を預けられる形状ながらも

背中の上部分が起きるようになっていて、ヘルメット後部のクリアランスが得やすく、ハンドルも近くなって、理想のドラポジが取りやすい。VA型の場合、ハンドルはやや左にオフセット。また、シートベルトアンカーにヘッドガードが当たるため、長身の場合は厳しい。ちなみに、ドアには干渉しないので、そうでなければ装着可。

XERO VS と ZETA IV は乗り降りしやすいが、背中もまっすぐ寝かせ気味の形状なので、リラックスしてのドライブが可能。よって、フルバケットタイプでは比較的にストリートとの併用がしやすいシートだ。ハンドルの左オフセットもややわらわら、10mm程度に。VS と ZETA IV では VS のほうが、座面の形状により、10mmほど低い着座位置 & アイポイントになる。少しでも低いほうがという人は VS を選ぶとよいだろう。

リクライニング機構付きの STRADIA III は座面にベルトホルダーが備わって、5、6点式ハーネスが使えるようになり、剛性アップやリクライニングデバイスの進化もあって、サーキット性能が格段にアップした。ZETA IV と同じ着座位置が得られ、リクライニング機構で、状況ごとにドラポジを変えられるなど、今回のテストでは群を抜く守備範囲。STRADIA II より長距離での耐疲労性も明らかに向上している。

XERO CS



背中の上部分が起きる形状でハンドルが近くなり、理想のドラポジが得やすい。ホールド性も断トツだが、シートベルトアンカーにヘッドガードが当たる

XERO VS



背中はまっすぐ寝かせ気味の形状。アイポイントは最も低い。CS よりハンドルの左オフセットはやわらぐ。車内での干渉もなし。乗り降りもしやすい

ZETA IV



こちらも背中はまっすぐ寝かせ気味。着座位置は CS、VS よりわずかに高い。ハンドルの左オフセットは CS よりやわらぐ。乗り降りしやすい

BRIDEの最新シート&レール×GR YARIS 佐々木雅弘が富士スピードウェイで全開テスト!!

注目の新シートレールLFは走りに効く!!

BRIDEではリクライニングバケットのSTRADIAⅢ、フルバケ用シートレールLFなどラインアップが充実中
それらを富士スピードウェイレーシングコースで佐々木雅弘がマイカーに装着して実走テスト!!



リアシートも特注の BRIDE カラーに張り替えられている佐々木ヤリス



ステアリングがセンターに来る
GR YARIS用シートレール『LF』



GR ヤリス用シートレールに新たに『LF』が登場。フルバケット専用でレールの後ろ側をI断面から口断面の角材に変更。それによって剛性を高めて、ハードなサーキット走行に対応。また、これまでの『FO』レールではステアリングセンターからわずかに10mm 右側にズレていたが、『LF』では完全な中心になるようにしている。ローマックスシリーズのシートと組み合わせることで、高さを下げてセンターも出せる、モータースポーツ向けのレールなのだ

**GRヤリスに相応しい
ドライビング環境の提案**

GRヤリス用にラインアップ充実を図るブリッド。人気のリクライニングバケットシート『ストラディア』はモデルチェンジして『ストラディアⅢ』となっており、本格フルバケットシートの『XEROCS』もターゲット。シートレールも追加された。

新シートレールの『LF』はフルバケットシート専用レールで、高剛性とステアリングセンターが出ているのがウリ。シートレール自体の剛性を高めるべく、口断面の角材を使用して強さを高めた。ステアリングの中央にシートが来るので、操作のしやすさも向上している。

それらのシートと、リクライニングシートである『ユーロス

ター』、さらに『ジータⅣ』を佐々木雅弘選手のマイカーであるGRヤリスに装着し、富士スピードウェイ・レーシングコースでテストを行った。

ちなみにオートプロデュースボスと開発中の佐々木ヤリスは、RZハイパフォーマンスがベースなので、前後にトルセン式LSDを備える。チューニング状況はほぼノーマル。ノーマルキャリパーの限界を探るべく、ブレーキパッドにエンドレスMX72を装着し、ブレーキ系はそれ以外ノーマル。サスペンションはクスコTNRをベースに、バネレートをフロント16kg/mmリア22kg/mmにセッティング。タイヤはRE12DタイプAを組み合わせる程度。筑波サーキットをメインに詰めた足まわりだが、富士スピードウェイではかなり好フィールとのこと。



XERO CS

スーパー耐久のGRヤリス並みに低いアイポイント

「圧巻の剛性を感じる。フルブレーキでも完全にカラダをシートに預けてブレーキ操作ができるから、繊細なブレーキングができる。カラダが動くと耐久レースでは疲労にもつながる。アイポイントもレーシングカー並みに低くてきている。シートがしっかりしていないと、サスのセッティングも決まらない。それくらいシートの強さというのは大事なことです」と佐々木選手。ちなみにシート高はLFレール使用で -65mm とがつつり下げることができる



STRADIA III

剛性アップでサーキット性能が一層高まった!!

「新型になって確実に剛性が上がっていることが体感できます。1コーナークレーキングでも、これまで以上に躊躇なく強く踏めるようになりました。ステアリングのテレスコピック調整が短い車種なので、背もたれの角度で腕の伸び具合を調整できるのは凄いです。シートのセンターが10mmズレているのは、気になるほどではないですが、ズレていることはわかります」(佐々木雅弘)



EUROSTER

ノーマルのように使えてホールド性は高い

「カラダを面で包んでくれるのでノーマルシートよりもホールド性が高い。市街地をドライブしたが、やはり楽し、乗り降りもしやすい。じつはマイカーのプリウスにも使っていて、その長距離の楽しさは自身でも体感していました。ヤリスにもピッタリです」(佐々木雅弘)



ZETA IIIもマッチングを確認

形状としてはXERO CSよりライトなZETA IIIもマッチングを確認。街乗りメインや、ある程度シート高が欲しい場合にはFOシートレールをチョイスすれば、アイポイントが低くなり過ぎない



BRIDE

AIR BUSTER PORTABLE BRIDE EDITION

■ブリッド TEL 052-689-2611 <http://bride-jp.com>
■三友商事 TEL 06-6262-6123 <https://www.sanyu-syoji.co.jp>

価格: 4万4000円(税込み) ※6月中旬受注開始



トップメーカー『タムラテコ』製 オゾン除菌・脱臭器の携帯版

沿面放電方式でオゾンを生成。人体に無害なオゾン濃度に

タムラテコは官公庁にオゾン機器を納入、また、医療機器としての製造が認められているオゾン除菌脱臭器のトップメーカーだ。オゾンは浮遊、付着している菌やウイルスを除菌してくれる反面、濃度が高いと人体に悪影響をおよぼすが、同社の製品は、人体に無害な濃度で、有人環境下でも安心して使うことが可能。また、複数の研究機関で、一定条件下において、新型コロナウイルス不活性化実験も行っている。

主力製品のAIR BUSTER(税別定価19万2000円)は最大80㎡(50畳)まで対応。その同型器(BT03)は全国1000台以上の救急車に搭載されている。そして、ヤクルト、阪神、中日、ロッテなどの球団、富士スピードウェイやスポーツランドSUGO、岡山国際、オートボリスなどのサーキットでも採用され、エビデンスに貢献しているのだ。

AIR BUSTER PORTABLEはその携帯版。では、シートメーカーBRIDEとのコラボ製品、同BRIDE EDITIONの概要を紹介したい。

こちらは、持ち運びやカップホルダーに収納しての車載を前提に開発されてい

て、自身のまわりでオゾンを発生&コントロール。内蔵フィルターによる空気清浄機能も備わっている。

電源はUSB端子につなぐことで得られ、モバイルバッテリーを持ち歩けば、出先でも活用できる。直径66mm、高さ180mmとコンパクトで、質量も360gと軽く、かさばらないのがうれしい。また、電源コード挿し込み口は中腹にあり、カップホルダーへの収納にも配慮がなされている。BRIDEのイメージキャラクターであるホールディングモンスターが光る演出もならでは。価格は税込み4万4000円。6月中旬販売開始の予定。

空気清浄機能付きオゾン除菌消臭器。定格入力電圧 DC5V/1A、消費電力 4W、直径 66mm × 高さ 180mm で質量は 360g。上記内容は発売時に変更になる可能性もあり



BRIDEのホールディングモンスターが光る仕掛け。空気の状態によって照明の色も変化する。温度と湿度を表示



USB電源(入力電圧 5V/1A)で作動。カップホルダーに収まるよう電源コード挿し込み口は中腹に。フィルターを備える構造

